

ロボットの安全基準の国際標準化により、販売開始および売上げ増に貢献！

生活支援ロボットの安全検証技術の開発と標準化

《受賞者》 ○産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター

研究センター長 比留川博久

副研究センター長 大場 光太郎

○一般財団法人日本自動車研究所 ロボットプロジェクト推進室 室長 藤川 達夫

○名古屋大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 教授 山田 陽滋

《受賞概要》

◇生活支援ロボット実用化の障壁を排除

- ・ロボット技術の生活分野への展開が期待される中、世界的な安全基準の未整備、事故のリスクが企業の障壁であった。企業のみでは限界がある中、産学官の連携によって**生活支援ロボットの安全性評価の基準、試験方法、認証スキームを確立**。

◇ワンストップで安全性評価

- ・NEDO「生活支援ロボット実用化プロジェクト(H21-25)」において世界初「**生活支援ロボット安全検証センター**」を整備し、安全性評価手法を確立。
- ・AMED「ロボット介護機器開発・導入促進事業(H25-29)」においてロボット介護機器の開発・導入を促進。
- ・ロボットの安全性についての相談・試験・評価を行える拠点。

◇生活支援ロボットの安全性基準発行

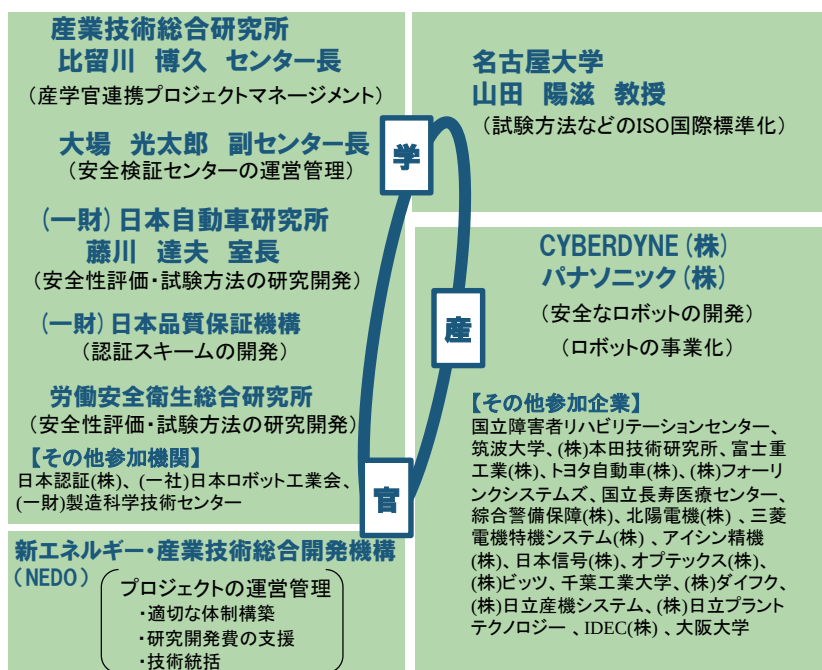
- ・ISO TC/184/SC2において、検証センターでの**実際の試験に基づく成果を反映した試験方法などを提案**し欧州勢に対抗。**国際標準化を主導**した。
- ・**世界初生活支援ロボット国際標準 ISO13482発行(2014.2.1)に貢献**。

◇生活支援ロボットの認証事例

- ・**世界に先駆けたISO13482認証事例6件**(ISO13482DIS/ISO13482)。

◇拡大するビジネスチャンス

- ・認証された6件が民間企業4社から販売開始。認証を機に売上が成長。



電磁波環境試験



傾斜路走行試験



生活支援ロボット安全検証センター



耐久試験



障害物接近再現試験



CYBERDYNE(株)HAL



パナソニック(株)リサーチ



RT.ワークス(株) RT.1



(株)ダイフク エリア管理システム



Honda歩行アシスト